

# 希少金属資源開発推進基盤整備事業

平成30年度予算額 **3.8億円（4.0億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 希少金属資源は鉄鋼、化学合成樹脂、ガラス製品等に添加され、工業製品の製造や素材の高付加価値化に欠かせません。
- 本事業では、希少金属資源の供給源の多角化を図り、供給の不確実性を低減させるため、基礎的な資源探査等を実施します。有望な調査結果が得られた場合は、開発の権利等を我が国企業に引き継ぎます。
- また、希少金属資源探査のための衛星画像解析技術や物理探査技術の高度化を進めるとともに、探査の結果得られた鉱石の分離技術等の調査を行い、我が国企業による製錬技術等の高度化を図ります。

### 成果目標

- 平成20年度からの事業であり、民間企業への権益（探査権、採掘権、販売権、購入権、引取権等）引継又は引継のための保持を目指します（平成26年度から平成30年度までの5年間の目標は2件以上）。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 素材の高付加価値化に不可欠な希少金属資源等

（自動車の例）



- エンジン部品（チタン）
- 超硬工具（タングステン）
- 製品添加物（樹脂難燃剤（アンチモン）、液晶（インジウム）、ガラス（レアアース））
- 車体（ニッケル、モリブデン、クロム、マンガン、ニオブ、マグネシウム等の鉄鋼添加物）

### 希少金属資源の調査

